



暦の上では春になる月ですが、一年の中で一番寒さの厳しい時期です。

2月の旧暦の異名、「如月（きさらぎ）」とは、寒くて衣をさらに着込む「衣更着」からきたという説があり、昔の人の寒さに耐えた生活が偲ばれます。

空気が乾燥しています。風邪をひきやすいので手洗いやうがいと風邪予防を心がけましょう。

『節分』豆知識 (「子どもに伝えたい和の行事を楽しむ絵本」より)

節分は「季節の分かれ目」という意味で、本来は立春、立夏、立秋、立冬の前日のことをいうので年に4回あります。

でも、今では立春の前日だけをさすようになってきました。これは旧暦では一年が春から始まり、立春は正月と同じくらい大事な日なので立春前の節分は年の分かれ目をかねた特別な日とされたからです。

* どうして鬼をやっつけるの？

節分で追い払う鬼は邪気や冬の寒気の特徴です。人の力ではどうにもならない災害や病などは鬼のしわざとされたため、新年の幸福を願い節分に鬼を追い払うようになりました。

すっかり悪者の鬼ですが、日本にはよい鬼の話もあります。日本古来の鬼は人々にたよりにされる存在が多いからです。

鬼が悪者になったのは、豆まきのルーツである中国伝来の「鬼やらい」に由来するといわれています。そして、鬼が出入りする「鬼門」が丑寅（うしとら、北東）の方角にあるとされているため、鬼の姿をウシとトラで表すようになりました。

鬼の姿を思い浮かべてみると…頭にはウシの角、口にはトラの牙、トラの皮で出来たシマシマ模様の服を着ているのも、なるほどですね！

